

革風デスクカレンダー電波クロック

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用いただく前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただけますようお願いいたします。また、この取扱説明書(保証書付)はお手元に保存の上、必要に応じてご覧ください。

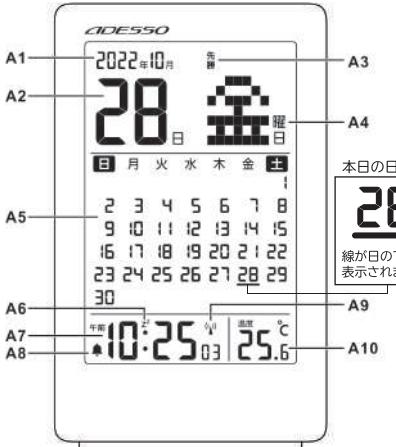
DCC-365

内容物の確認 ご使用の前に確認してください

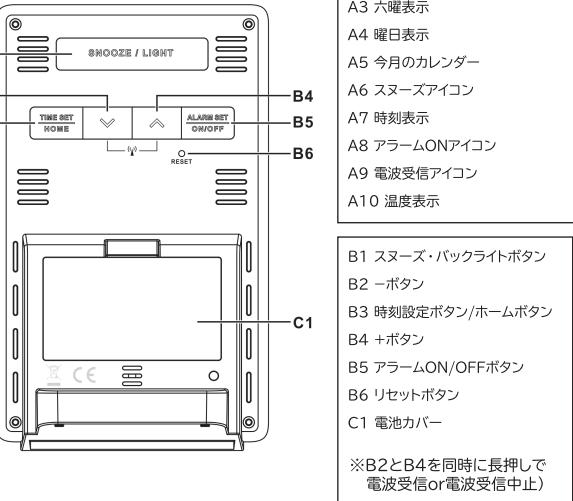
- 時計本体 1個
- 単三乾電池 2本
- 取扱説明書・保証書(本紙) 1枚

各部の名称

前面



裏面



はじめかた

1. 電池を入れる(単三乾電池 2本)

電池カバーを開けて、(くぼみの部分を引くようにすると開けられます)側から電池を入れてください。画面液晶に【2022年8月10日 水曜日 午前 12:00】と表示されます。

電池の \oplus/\ominus の向きを間違えないように注意してください。

- ・種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- ・充電式電池や初期電圧の高い電池を使用しないでください。

2. 電波を受信する

電波受信アイコンが点滅しているのを確認してください。本体を窓際などできるだけ電波の受信しやすい場所に置いてください。(10分以上受信にかかる場合があります。)



電波受信アイコン

【受信に成功した場合】

電波受信アイコンが点灯します。
正しい時刻、日付が表示されます。

【受信に失敗した場合】

電波受信アイコンが消灯します。再度受信を試みる、(-ボタン+ボタンを同時に長押し)

または手動で設定してください。

手動での設定は【手動で設定する】をご参考ください。

・うまく受信できない場合は本体の向きや場所を変えて、もう一度受信させてください。使用場所の受信状態が良くないことが考えられます。

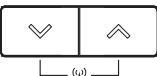
・夜間は昼間に比べて受信状態が良くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

手動での設定

1. 電波受信をやめる(電波受信アイコンが点滅している場合)

電波受信中(電波受信アイコンが点滅)の場合は
-ボタン+ボタンを同時に長押しして、電波受信を止めてください。

長押し



2. 手動で時刻・カレンダーを設定する

① 時刻設定ボタンを長押ししてください。

長押し



② 画面左上の「年」が点滅します。



-ボタン、または
+ボタンで設定してください。

2022年

手動での設定(つづき)

③ 時刻設定ボタンを押してください。
「月」が点滅します。



8月



-ボタン、または
+ボタンで設定してください。

④ 時刻設定ボタンを押してください。
「日」が点滅します。



10日



-ボタン、または
+ボタンで設定してください。

⑤ 時刻設定ボタンを押してください。
「時」が点滅します。



12:00



-ボタン、または
+ボタンで設定してください。

⑥ 時刻設定ボタンを押してください。
「分」が点滅します。



12:00



-ボタン、または
+ボタンで設定してください。

「分」を変更すると「秒」が「00」にリセットされます。
正確な時刻を参考に正しい「秒」を設定してください。

00



⑦ 時刻設定ボタンを押して設定完了です。

アラーム時刻設定

① アラームON/OFFボタンを長押ししてください。
現在時刻の部分にアラームの時刻が表示され、アラーム時刻の「時」が点滅します。(秒の部分が「AL」と表示されます)。

長押し



午前

6:00 AL



② アラームON/OFFボタンを押してください。
アラーム時刻の「分」が点滅します。

午前



7:00 AL



③ アラームON/OFFボタンを押して設定完了です。

※ 設定時に-ボタン、+ボタンを長押すと数字を早く変更することができます。

※ 現在時刻表示時にアラームON/OFFボタンを押すと、設定されたアラーム時刻を確認できます。

※ アラームを使用する際は必ずアラームONアイコンを表示させてください。(アラーム時刻表示時にアラームON/OFFボタンを押す。数秒すると通常表示に戻ります。)



アラームの止め方

アラームの鳴っている際、スヌーズ・バックライトボタン以外の裏面の4つのいずれかのボタンを押すとアラームが鳴りやみ、翌日の同時刻に再び鳴ります。

※ 何もボタンを押さないと2分後に自動的に鳴り止み、翌日の同時刻に再び鳴ります。

※ アラームを使用しない場合はアラームをオフにしてアラームONアイコンが表示されていないのを確認してください。

スヌーズ設定について

アラームの鳴っている際、裏面のスヌーズ・バックライトボタンを押すとアラームが鳴りやみ、5分後に再び鳴ります。スヌーズモード中はスヌーズアイコンが点滅します。



Z^z

スヌーズ・バックライトボタン

スヌーズアイコン

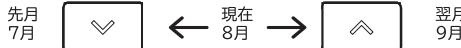
※ 何もボタンを押さないと2分後に自動的に鳴り止み、翌日の同時刻に再び鳴ります。

※ スヌーズ機能は最大8回までです。

カレンダー機能について

- 現在時刻表示時に-ボタン、または+ボタンを押すと過去・現在のカレンダーを確認できます。

(例)



※ 過去・未来のカレンダーを表示時、時刻設定ボタン/ホームボタンを押す、または30秒間ボタンを押さないと自動で現在の月の表示に戻ります。

※ -ボタン、+ボタンを長押しすると数字(月)を早く変更することができます。

その他

- 裏面のスヌーズ・バックライトボタンを押すと、液晶が5秒間明るくなり、暗い場所でも時刻を確認できます。

SNOOZE / LIGHT

故障かな?と思ったら

症状	考えられる原因	処置
時刻・カレンダーが合っていない。 電波を受信しない。	-電波受信に成功していない。 -電池の容量が少なくなっている。 -電波受信の良くない場所(移動場所についてをご参照ください) -電池の容量が少なくなっている。	再度電波受信を試みるか、手動で設定してください。 -新しい電池に交換する。 -電波受信に適した場所に置く。 -新しい電池に交換する。
アラームが鳴らない。	アラームONアイコンが表示されていない。	アラームONアイコンが表示されていることを確認してください。

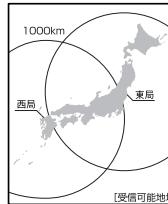
使用場所・お手入れ

下記のような場所では使用しないでください。本製品や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また、本製品は業務用ではありません。

- 温度が50°C以上になる所や直射日光の当たる所。
(例)屋外、または暖房器具などの熱風や火気に近い所。
 - 温度が-10°C以下になる所。
 - プラスチック製の部品や電池が劣化することがあります。
 - ちり・ほごりの多い所。
●大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。磁力の影響で、進み・進れが止まり、時計が止まることがあります。
 - 浴室など湿気が多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接当たるような所。
 - 振動のある所。不安定な所。
●工場、台所など、多くの油を使用する所。
 - ビニール系素材の壁、敷物などの上、壁や敷物、および本製品が汚れたり傷むことがあります。
●温度や湿度の変化が激しい所。
寒い所から暖かい所への移動などにより、結露が生じことがあります。本製品は、テレビやラジオと同じ様に電波を受信するものです。ご使用の際は、電波を受けやすい窓などに設置してください。
 - なお、天候、時間帯、建物の影響など、次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。
場所を変えてご使用ください。
 - ビルの中、ビルの谷間、地下
 - 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く
 - テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリなどの家電製品やOA機器の近く
 - 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害が起きやすい所
 - 乗り物の中(自動車、電車、飛行機など)
 - スチール机など、金属製の家具の上や近く
 - その他、電波ノイズを発生するものの近く
 - ※電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で動作します。
- お手入れについて
- 本体を清掃するときは、湿った、やわらかい布で拭いてください。
 - 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少量、柔らかい布に含ませて拭いてください。その後、柔らかい布で乾拭いてください。
 - お手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール、磨き粉、各種ブラシなどを使用しないでください。また、殺虫剤、ヘアスプレーなどがかかるないようにしてください。変色したり、傷が付く恐れがあります。

電波時計について

- 電波時計／電波修正機能とは
正確な時刻およびカレンダー情報をせた標準電波を受信することにより、自動的に時刻を修正・表示します。
- 標準電波とは
情報通信研究機構(NICT)が運用している時刻情報をせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。
- 電波受信について
標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所(東・西2カ所)からおおむね1000km～1200kmです。この製品は40kHz(東・福島送信所)、60kHz(西・九州送信所)のいずれかを受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、設置場所、時計の向き、時間帯、地形、建物の影響などによって受信できない場合があります。



[受信可能地域]

- ご注意
●昼間は生活上のノイズが多く発生するため、受信がしづらい場合があります。夜間に受信することをおすめします。
- 電波障害などによって、誤った時刻が表示される場合があります。また、設置場所や電波状況によっては受信できないことがあります。そのようなときは、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で動作します。
- 設備のメンテナンスや落雷などの影響により電波の送信が停止(停波)することがあります。停波に関する情報は、情報通信研究機構日本標準時グループのホームページをご覗ください。

必ずお守りください 安全上のご注意

警告 ▲ 死亡または重傷を負う恐れがある内容

- <アルカリ電池について>
- 充電、ショート、変形、分解、加熱、火中に投入などをしないでください。漏れや発熱、破裂の原因となります。
 - 万一、アルカリ性液体が皮膚や衣類に付着した場合は、きれいな水で洗い流してください。また、目に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
- <糊包用ポリ袋について>
- 窒息する恐れがありますので、ポリ袋を絶対にかぶらないでください。
- <液晶パネルについて>
- 液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶(液状)が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがありますので、十分注意してください。万一、以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。
- 皮膚に付着した場合
付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
 - 目に入った場合
きれいな水でよく洗い流し、洗浄した後医師の診断を受けてください。
 - 飲み込んだ場合
水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したら、医師の診断を受けてください。

注意 ▲ けがをしたり家財に損害を与える恐れのある内容

- <製品の設置場所について>
- 落とすや転倒により、けがをしたり器物を破損する恐れがありますので、振動のある場所や、不安定な場所には本製品を設置しないでください。
- <電池について>
- 下記の注意事項を必ず守ってください。電池の使い方を間違えると、液漏れや破裂により、本製品の故障やけがの恐れがあります。
- 1) 製品仕様に記載された電池寿命を経過した場合は、本製品がまだ動いていても、すぐて新しい電池と交換してください。また、本製品を使わないときは、電池をすぐて取り外してください。電池を入れたままにしておくと、寿命の切れた電池からの液漏れなどにより、本製品や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
 - 2) 電池は必ず一度から入れてください。また、①を正しく入れてください。
 - 3) 付属の電池は充電式ではありません。充電すると液漏れや破裂の恐れがあります。
 - 4) 電池に直角にドンダ付けたり、水滴を付けたりしないでください。
 - 5) 直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。また、使用済みの電池は速やかに処分するか、幼児の手の届かない所に保管してください。
 - 6) 本製品が動かないなどの場合、電池の端子が汚れていることがあります。
- その時は、やわらかい布で乾拭してください。
- (7) 付属の電池は、工場出荷時に同梱された電池です。お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れることがあります。
- (8) 充電式電池や初期電圧が低い電池を使用しないでください。正常に動作しなかつたり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。
- <分解や改造をしない>
- 本製品を分解したり、改造したりしないでください。本製品の故障やけがの恐れがあります。
- <製品と電池の廃棄について>
- お住まいの自治体の定める規則に従い、廃棄してください。

製品仕様

- 時 間 精 度：平均月差±30秒(電波受信による時刻修正を行わない場合)
使 用 温 度範 囲：0°C～40°C
ア ラ ー ム：設定1つ、約2分間オートストップ、スヌーズ機能
(スヌーズは8回まで繰り返すことができます)
カ レ ン ダ ー：2000年1月1日～2099年12月31日
温 湿 度 表 示 精 度：温度 ±2°C
表 示 内 容：日付(月/日/曜日)、時刻(午前/午後表示による12時間制)、周囲温度(°C)
使 用 電 池：単3形乾電池 2本
電 池 寿 命：約1年
受 信 機 能：自動受信…毎日午前2時ごろに受信(受信に失敗した場合は午前3時、4時ごろにまた受信を試みます)

※電池の寿命はご使用の条件によって変わります。
※仕様は予告なく変更する場合があります。

使用上の注意

- 静電気などにより誤動作することがありますが、故障ではありません。
誤動作した場合は、リセットボタンを押してください。
リセットボタンを押した場合は、時刻などがリセットされます。
 - 本製品は日本標準電波仕様のため、海外では電波修正機能は使用できません。
 - 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。
- <温度について>
- センサーが製品内部にあるため、製品周囲の温度が変化しても表示が変わるもの時間がかかります。
 - 温度が次のような状態になったときの表示
-温度：-9.9°Cより低い「LL」/ 50°Cより高い「HH」
 - 本製品は工業用計測器として使用する目的で製造されたものではありません。精度誤差などによる二次災害や損害などについては、弊社は一切その責任を負いませんのでご了承ください。

- <液晶パネルについて>
- 見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
 - 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。
 - 温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。
 - 次の場合、静電気や圧力を加えることにより、黒い線・しみ・縞模様が発生することがありますか?故障ではありません。
しばらく放置しますと元に戻ります。
-乾いた布などでふいたとき
-指などで液晶パネルを押したとき